

## 環境ホルモンの研究

理数科 2 年 丸子 敬仁 武田 卓也 本田 崇矩

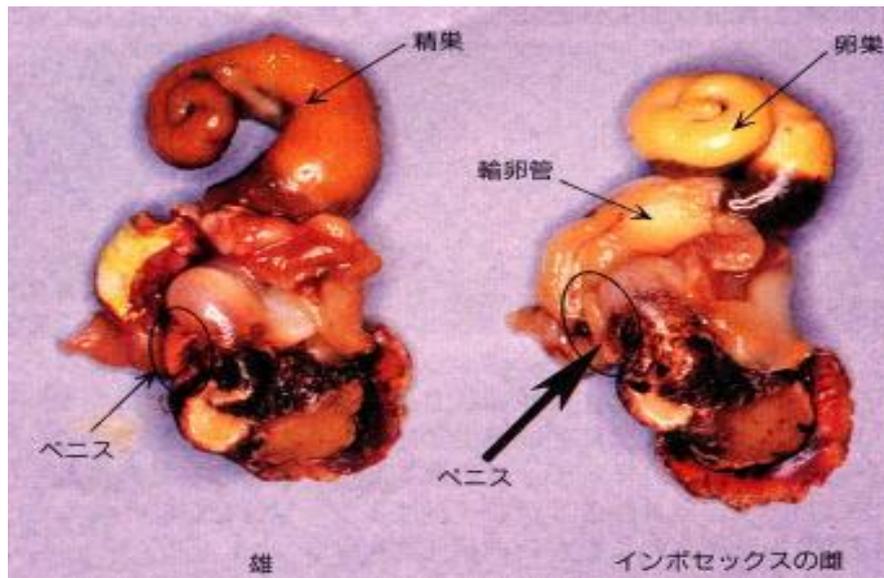
指導教諭 千葉 昇

### ● 概要

イボニシを採取し、環境ホルモンによる影響を調べる。

### ● インボセックスとは？

メスの個体に、オスの生殖期（ペニスと輸精管）が形成されて発達する現象。



### ● 研究方法

調査地：愛媛県松山市北吉田町の海岸

時間帯：干潮時

採取方法：採取時間を一定にするために

$60 \text{分} \div \text{採取を行った人数} = \text{採取時間}$  とする

貝はサイズを選ばず、ランダムに採取

採取した後、採集した貝の殻高，殻幅，湿重量を計測してその貝をゆでて軟体部を取り出す。雌雄を見分け、オス化の有無を調べる。

### ● 調査結果

- ・ 全体的に総個体数に大きな変化はない（月ごとの差あり）
- ・ 他の個体に比べてオス化の個体は大きい
- ・ どの時期にもオス化は存在している
- ・ メス：オス化＝1.48：1

### ● 考察

雌雄の割合や総個体数の変化をみると、まだ環境ホルモンによる影響が残っていると考えられる。